

CONTENTS

4 おもてなしの宿 おぼない
おお だて
大建 もも 子さん

5 株式会社幸呼来Japan
いし がしら えつ
石頭 悦 さん

6 安比塗漆器工房
く どう り さ
工藤 理沙 さん

7 Kazumi Studio
さ とう かず み
佐藤 和美 さん

8 Pono books&time
お やま
小山 ゆかり さん

9 NPO法人ののりのだ物語
しも むかい り な
下向 理奈 さん

10 有限会社夢農業新屋農園
こん ま き こ
昆 真喜子 さん

11 Art Eriy's
もり いわ ゆき え
盛岩 幸恵 さん

12 株式会社やどり木
みなみ だて のり え
南館 則江 さん
くま がい ゆ み
熊谷 由美 さん

13 株式会社re:terra
わた なべ
渡邊 さやか さん

14 未来のSTARSへ

岩手の女性に
自分らしく
輝いてほしい。

少子高齢化や、人口減少が進む現代。
さまざまな状況に置かれた女性が
自ら希望を実現して個性と能力を発揮でき、
男性も女性もすべての人にとって
働きやすい社会をつくりたい。
岩手県は、そう考えています。

「やりたいことを実現したい」。
そう決意して、いきいきと働く人々が、
私たちの住む岩手にもいます。

よりいきいきと暮らせる岩手になることを願い、
起業や経営を通して
「岩手で輝く女性たち」をご紹介します。

おしえて!
STARS

皆さんに共通で
こんな質問をしました。

- ① この仕事を始めた年齢、起業した年齢
- ② この仕事を始めたきっかけ、起業のきっかけ
- ③ 今後の目標、目指すもの



株式会社幸呼来Japan 代表取締役
石頭悦さん

おしえて! STARS

- ① 45歳
- ② 大震災で社内事業の継続が難しくなったため
- ③ 「sakiori」を世界の標準語に!

盛岡発の裂き織を、世界の sakiori に!

今、社員は、障がいを持つスタッフ17人と職員が5人。代表として私のいちばん大切な仕事は、社員誰もが働きやすい職場にすることだと考えています。こまめにコ

大手企業とのコラボレーションも実現

今、社員の障がいを持つスタッフ17人と職員が5人。代表として私のいちばん大切な仕事は、社員誰もが働きやすい職場にすることだと考えています。こまめにコ

社の名前は「幸呼来Japan」。さんさ踊りの「サツコーチヨイフヤッセ」の掛け声からとったもの。「Japan」には、いつか世界を相手にしたいという気持ちを含めました。

今後の課題は、いかに自社ブランドの付加価値を高めていくか。働く社員のためにも、事業を長く、安定して継続する方法を考えていかなければなりません。いつか、「sakiori」を世界の標準語にしたい。そして盛岡を、その産地にしたい。それが私の目標であり夢なんです。

障がいを持つ生徒の作った裂き織に感動

住宅リフォーム会社に勤務しバリアフリーの担当をしていたとき、特別支援学校の生徒さんたちが作った裂き織を初めて目にしました。裂き織自体を知らなかった私は、「なんてきれいな織物なんだろっ」と驚きました。障がいのある人が作ったから驚いたのではなく、純粋にそのクオリティの高さに感

動したんです。このすばらしさを広く皆さんに伝えたい。そう強く思い、勤務先の社長に直談判。盛岡市の緊急雇用創出事業の補助金を得て、2010年、社内に裂き織部門を立ち上げました。使わなくなったさんさ踊りの浴衣を材料に、さんさ裂き織の名でポーチや文具などを製作。盛岡やさんさ踊りのお土産として少しずつ認知されていきました。そんななか、2011年3月に

東日本大震災が発生。翌日は出勤しなくていいよと伝えていたにも関わらず、障がいを持つ1人のスタッフが心配して工房にやって来たんです。会社内での事業継続は難しい状況でしたが、その姿を見て「やめる」とはともいえず、会社を辞め、自ら会社を立ち上げ、その事業を引き継ぐことを決意しました。

ミニニケーションを取り、情報を知り共有。なんでも言い合える雰囲気を作り、みんなの声を経営に生かすように心がけています。2014年より「さんさ裂き織」に加え、アパレルメーカーから出るあまり布を使い、デザイン性の高い裂き織製品を提案する新ブランド「パノレーチエ」、メーカーから預かった布で裂き織を作り、新たな生地として提供する「さつこらproject」もスタート。パリコレブランドや大手シューズブランドなど、複数の企業とのコラボレーションも実現。2018年には、さつこらprojectがグッドデザイン賞を受賞しました。



おもてなしの宿 おぼない 若女将
大建ももこさん

おしえて! STARS

- ① 26歳
- ② 旅館の二代目である夫と結婚したため
- ③ 二戸市を、訪れた人の第二の故郷にする!

宿を、地域を盛り立てる、老舗旅館の若女将

そして仕事の楽しさややりがいを感じるようになっていきました。同時に、夫と二人で館内の改装も進めていきました。ロビーにカウンターを据え付けたり、古い家具を飾ったり。すべて自分たちでDIYでしたんですよ。それから、食事処のBGMをジャズにしたり。次第に、お客さんの反応や宿の過ごし方も変わっていきました。15・6年前、主人があとを継いだ時には廃業も考えていた旅館でしたが、徐々に客足は伸びていきました。

見知らぬ土地に嫁いできて不安だった私を、周囲の皆さんが温かく迎えてくれたからこそ、ここまでがんばってこれたのだと思います。そんな地域のいいところや魅力を言葉にしてちゃんとアピールしよう、自分たちが好きなものを、訪れる皆さんにも同じように好きになってほしい。そんな思いで、地域づくりの活動にも取り組んでいます。若女将として大切にしているのは、お客さんからの反応を、旅館のスタッフや地域の皆さんにちゃんとフィードバックすること。「お米がおいしいって言うてらっけよ」と農家さんに伝えれば、うれしいですしモチベーションも上がりますよね。

結婚して「旅館の若女将」に!

26歳のとき、家業であった旅館の二代目を継いでいた夫と結婚。旅館業という世界に初めて足を踏み入れました。もともと人の目を見て話すのが苦手。自分には絶対にできない仕事だと思っていました。でもある時お客さんと話していた、お客さんそれぞれに旅の目的

が違う、一人ひとりにドラマがあるんだと感じる瞬間があったんです。この旅でプロポーズしようという決意している若い男性、歴史好きな方、十数年前に旅した思い出の地を訪ねてきた老夫婦。そんな皆さんに、それぞれに合わせたお話ができて、ほしい情報をお伝えできたらいいなって。お客さんと接していくうちに徐々に、若女将として自分がしていきたいこと、

大好きな地域の魅力を、多くの人に知ってほしい

現在、若女将の仕事の傍ら、岩手県北5市町村でつくるカシオペア連邦をPRする「おもてなし課長」や、県北エリアの地域運営委員も務めさせていただいています。おいしいものが多くて、自然が豊かで、何より住んでいる皆さんが素直なこの土地が本当に大好き!

がんばったことや取り組んだことが、リピーターの数やお客さんの反応としてちゃんと実を結びます。この街が、この旅館が、いろんな人の第一、第三の故郷になればいいなと思っています。

困ったときには こんなサポートをご活用ください

商工会・商工会議所

起業や経営にまつわる悩み相談に、ワンストップで対応します。岩手県内には、商工会・商工連合会が26か所、商工会議所が9か所あるのでぜひお近くの相談窓口をチェックしてください。



岩手県内商工会一覧

<https://www.shokokai.com/?p=shokokai>



岩手県内商工会議所一覧

<http://www5.cin.or.jp/ccilist/prefecture/3>

起業応援ルーム「芽でるネット」(もりおか女性センター)

もりおか女性センター内にある、ITを活用した女性の起業を応援する専用ルームです。各種起業セミナーの開催、女性の起業や就労に関する簡単な相談の受付、ルーム内のパソコンの利用や図書の貸し出しなどを行っています。



tel : 019-604-3303

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目1-10 プラザおでって 5階

<http://www.sankaku-npo.jp/mederunet/>

公益財団法人いわて産業振興センター

中小企業庁が全国的に設置している「よろず支援拠点」により、課題を分析し、解決するためのサポートを行っています。ホームページでご確認の上、まずは電話でご予約ください。



tel : 019-631-3820

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2丁目4-26 先端技術センター 2階

<http://www.joho-iwate.or.jp>

★.x.x.★.x.x.★.x.x.★ 発行 ★.x.x.★.x.x.★.x.x.★

岩手県環境生活部若者女性協働推進室

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 tel : 019-629-5348(女性活躍支援担当)

若者女性協働推進室では、青少年の健全育成、男女共同参画社会の実現、NPO等をはじめとする社会貢献活動の支援や若者・女性の活躍支援など、多様な主体による協働の推進に取り組んでいます。

令和2年1月発行

起業したいと思ったら… こんなことを考えてみましょう



Step. 1

どんな事業にする?

まずは自分のやりたいことを考えてみましょう。
自分の強みを分析しながら、具体的に考えるのがおすすめです。

- どんな事業内容にする?
- 自分の強みは?
- 自分のどんな経験を生かす?

Step. 2

戦略はどうする?

事業を立ち上げ、続けていくためには市場や顧客についてよく考える必要があります。
想定している事業内容と照らし合わせながら吟味しましょう。

- お客様の想定は?
- ニーズを意識した商品づくりになっている?
- ライバルは?
- 価格設定は?
- 宣伝・広報は?

Step. 3

必要なモノ・コトの準備は?

夢の実現に向け、起業・経営に必要なモノ・コトを知りましょう。

- 事業用地は?
- 事業計画書の作成
- 資金調達は?*
- 各種手続きの確認

*どれくらい借入れが必要か、適切な返済計画が立てられるか、補助金活用できるか。